



1月号

光市立三井小学校

チャレンジ目標

○地域に、友だちに進んであいさつ 20人
○人をほめることば、人に感謝することばを20回

いよいよ、2012年の幕開けです。この1年またどんな新しいことに出会えるのでしょうか。希望もいっぱい。その反面、不安も入り交じっていることだと思います。ただ、夢や希望は人間だけがもてるものです。家族で今年の夢や希望を語り合い、それを互いに励まし合いながら、一つでも夢がかなえられるように絆を深めてほしいと願っています。

教職員も、皆様から信頼を得て、子どもたちの夢の実現の力に少しでもなれるように努力していきたいと思います。よろしくお願いします。

辰年を迎え、竜について考える

今年辰年。そこで年賀状にも竜のいろいろなイラストが見られました。

竜はご存じのように中国で生まれた想像上の動物です。「竜に九似あり」とされ、角は鹿、頭は駱駝、眼は鬼（幽霊）あるいは兎、身体は蛇、腹は蜃（はまぐり）、背中の鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎、耳は牛、に似た生き物として描かれました。



また口辺に長髯をたくわえ、喉下には一尺四方の逆鱗があり、ここは大変危険な場所と考えられました。一方で、顎下には、宝物である、宝珠があり、富をもたらすものとも言われました。そして、竜は、秋になると淵の中に潜んでじっと待ち、春には竜巻となって天に昇る生き物として語られてきました。

日本でも、竜は水の神として祀られたり、縁起のよい生き物として、各地の神社仏閣の絵として描かれています。そして、十二支には各々この世に生きる動物が当てはめられていますが、この竜だけが伝説上の生物です。この点でもとても竜は特異な存在だと言えます。

またこの竜を使った、熟語やことわざも多く存在します。ご存じと思いますが、いくつかあげてみたいと思います。

「登竜門」

立身出世の関門。「鯉の中でも、とてものぼれそうもない大激流の門をくぐることできたものだけが竜になれる」と信じられことからできた熟語。

「画竜点睛」

中国、梁の張僧繇（ちょうそうよう）が、金陵の安楽寺の壁にかいた竜に睛（ひとみ）を入れたら、たちまち雲に乗って昇天したという故事から、最後の大事な仕上げ。また、ほんの少し手を加えることで物事が完成し成就することのたとえ。

「龍頭蛇尾」

最初はとても勢いよくやっているが、最後の方はたいしたことはなくなってしまうこと。竜の勢いのよさと蛇が静かに動く様の対比からできた熟語。

「逆鱗（げきりん）に触れる」

目上の人を激しくおこらせること。竜の喉のしたの逆鱗に触れると竜が怒ってその人を殺したという言い伝えからできたことわざ。

「亢竜悔い有り」（こうりょうくいあり）

天高く昇りつめた竜はあとは下るしかないことを知って後悔する。高い地位にのぼり、栄達をきわめた者は、あとは衰えるばかりだから身を慎むべきであるとのたとえ。

これらのことから、竜は昔から、勢いのあるもの、エネルギーがあるもの、上昇していくもの、力のあるもの、成長するもの、縁起のよいものと思う一方で、恐れ多いもの、大変こわいものと感じているようです。

このイメージどおり、今年辰年のごとく、勢いのある年、成長の年にしたいものです。ただ恐れ多いものです。合わせて慎重さも忘れず、確実にやっていくことも大切なのかも知れません。

再生品回収収益のお知らせ

昨年末の再生品回収につきましては、大変お世話になりました。今回の再生品回収ではお陰様で、**75,356円**の収益を得ることができました。

この貴重な収益金を児童のために使わせていただきたいと思います。誠にありがとうございました。

参観日では…

毎回の参観日に、授業を見ての感想や評価をいただくようにしています。大変ご面倒だと思いますが、ぜひご協力ください。毎回みんさんのご意見をまとめて、教職員の授業改善の視点にしております。保護者の方々の新鮮なご意見が私どもの意識も変えています。今後ともぜひご協力をください。17日の参観日にもよろしくお願ひします。

学校評価にご協力を！

本年度も、後期の学校評価をお願いする 때가やってきました。毎度申し上げておりますが、皆様方のご意見により、学校の在り方を見直す、貴重な資料として活用させていただいております。どうぞ積極的なご協力をよろしくお願ひいたします。

今年も門松 ありがとう

今年も、地域の皆様のご協力で、立派な門松が校門に飾られました。

年末恒例になっていますが、門松材料の準備からあと片づけまですべて、地域の方にいただいております。このような地域の中で伝統文化に触れて育つ子どもたちは大変幸せだと思います。この門松をくぐり、新たな気持ちで、1月をスタートできました。

改めて、地域の皆様のあたたかいご支援に、感謝申し上げます。



参観日、来てください！

12月特別号でもご案内をしておりますが、1月17日(火)は自由参観日・書き初め展です。参観時間はいつでも結構です。

また、15:00から学校保健委員会が開かれます。よい睡眠を迎えるための体操実技もあります。多くの皆さんのみなさんの参加をお待ちしております。

寒の入りを迎えて

1月5日の小寒(寒の入り)から20日の大寒を過ぎ、2月4日の節分までが、1年で一番寒い時期と言われております。インフルエンザが大流行する頃でもあります。

年末から正月にかけ、生活リズムや食生活も乱れがち。それに寒さが加われば、カゼやインフルエンザに感染しても不思議ではありません。できるだけ早く通常の生活になるように、家族みんなで声をかけ合って家庭生活のきまりが守れるようにしていってほしいと思います。

「新」三島橋に…

3月末に完成予定の三島橋の工事が急ピッチで行われています。

その三島橋の橋柱に、「みしまはし」と「平成24年3月」という文字が刻まれます。その文字を三井小学校の4・5・6年生の中から選ばぶことになりました。選ばれた文字が、新しい三島橋を飾ることになります。

4・5・6年生の児童に、この冬休みに書いてもらいました。力作ぞろいで、どれも素晴らしいものです。この作品の中から、市長さんをはじめ、何人かの選定委員によって選ばれることになっています。また、決まりましたらお知らせをいたします。

3年間待ちに待った三島橋。橋の完成が待ち遠しくなってきましたね。は～るよ 来い!、は～やく 来い!

※ 紙資源回収を行っています! ご協力を  マーク 段ボール 紙パック